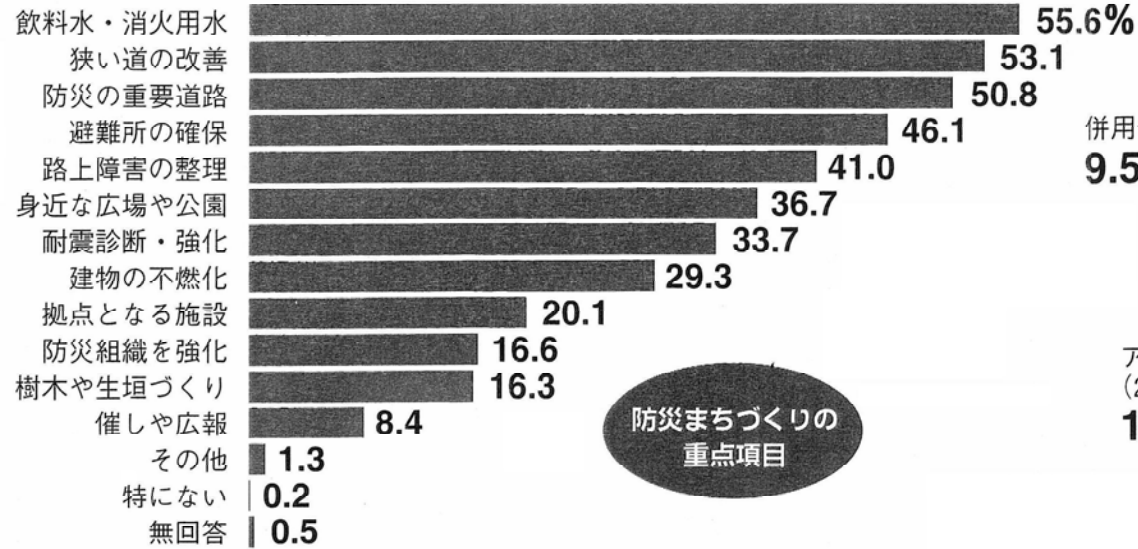
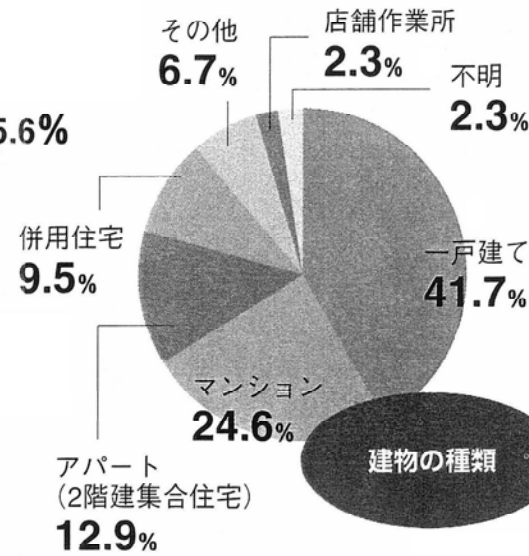


防災まちづくりの重点項目

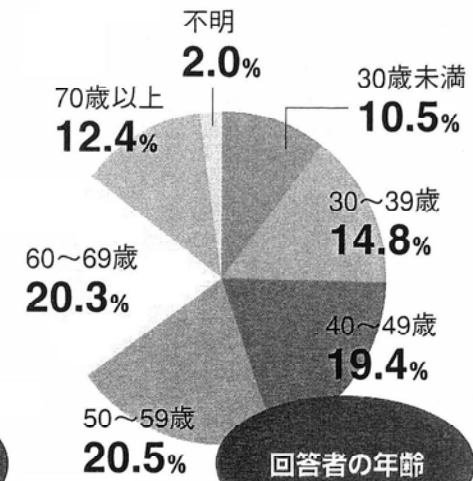
防災まちづくりにあたっては、「飲料水・消火用水の確保」56%、「狭い道路の改善」53%、「防災の重要道路確保」51%、「避難所の確保」46%が上位にあげられています。



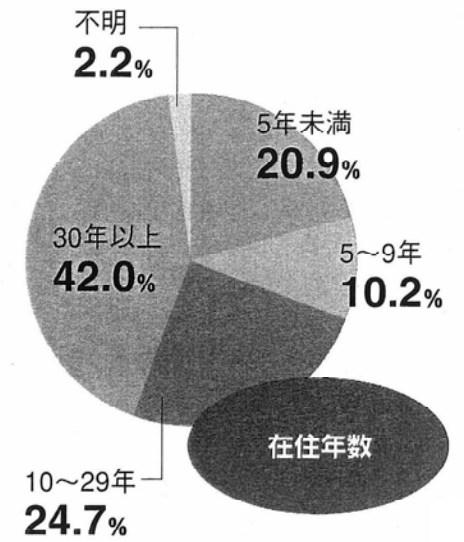
防災まちづくりの重点項目



建物の種類



回答者の年齢

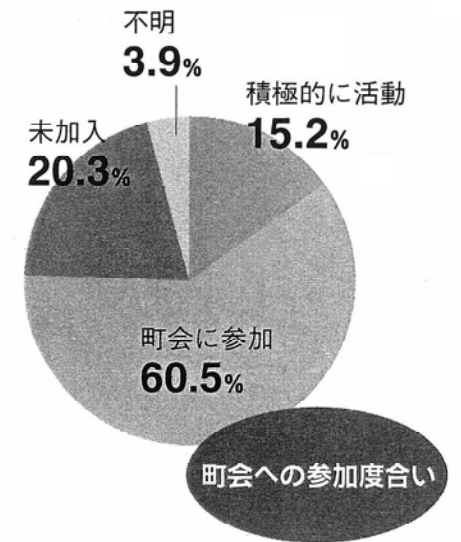


在住年数



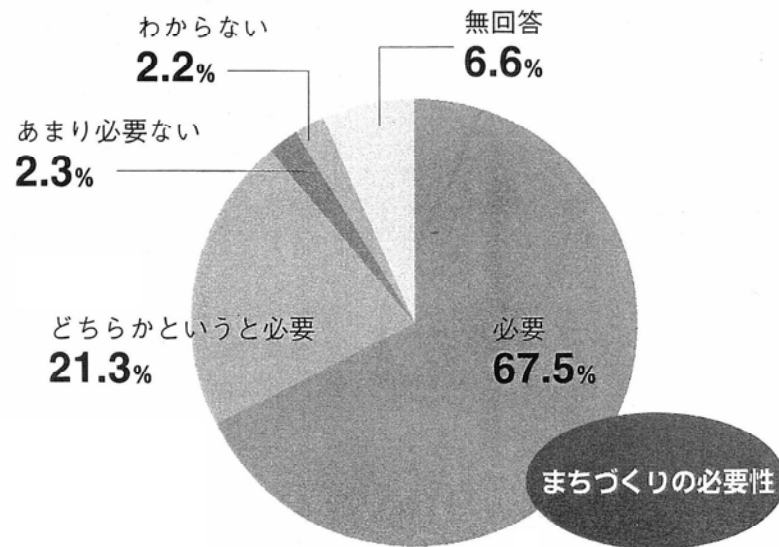
【回答された方の内訳】

若い人からお年寄りの方、戸建てやアパートマンションの方など多くの方から回答がよせられました。お住まいは戸建て住宅が42%と多く、ついでマンション25%でした。年齢は、30歳未満から70歳以上の方まで広い層にわたっています。在住年数では、30年以上の方が42%でしたが、5年未満の方も21%と多い回答です。町会とのかかわりでは、町会役員等で積極的に活動15%、町会加入61%でした。

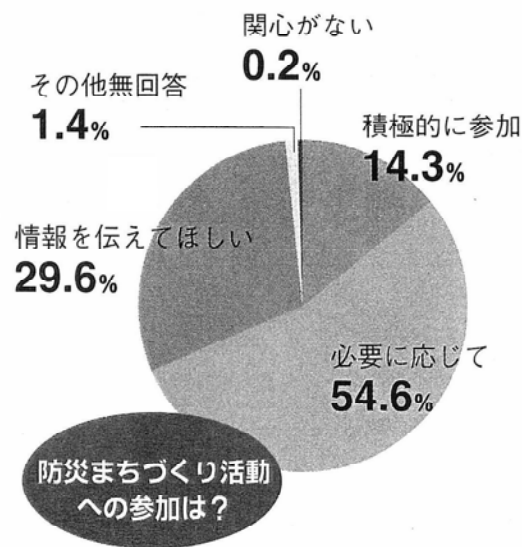


町会への参加度合い

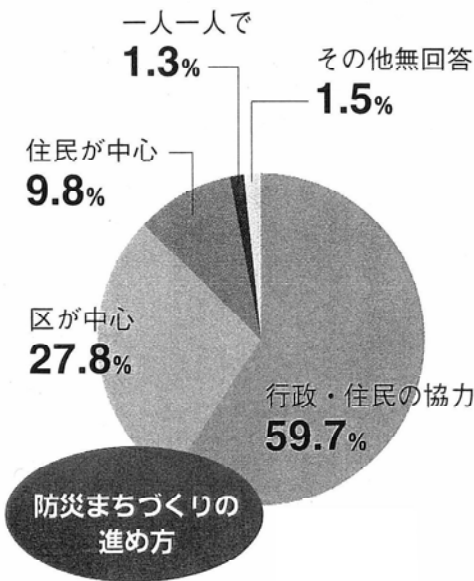
これからのまちづくりについて



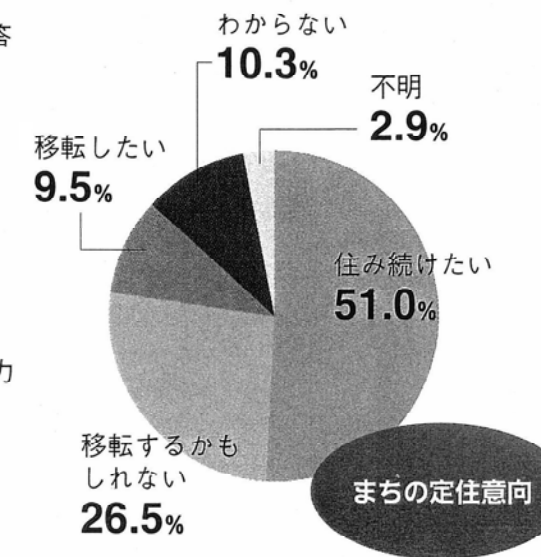
まちづくりの必要性



防災まちづくり活動への参加は？



防災まちづくりの進め方



まちの定住意向

【アンケート結果から】

アンケート結果からは、池袋本町にお住まいの方の意見としては、災害、特に地震に弱いまちであること、道路や緑・公園などの問題点があること、しかし、住み心地は悪くなく、愛着がある方が多いことがわかります。そして、安全で住みよいまちにするためには、隣り近所や町内の防災への体制づくりや行政と区民が協力してまちづくりを進めることが必要と、多くの方が考えていることも明らかになりました。